水戸の魅力 再発見!

水戸市立鯉淵小学校

1 本事業への思い

今回の事業に参加するにあたって、「児童が主体的に活動することを目指している」という趣旨に活動する意義を感じた。また、本学級の児童は全員水戸市内に在住しているが、水戸市について「よく行く場所は知っているけど、その他の場所はよく分からない」という声が上がっていた。そのため、水戸まごころタイムの課題解決学習の時間を活用して、水戸市についての魅力を調べ、発信できる機会になるのではないかと考えた。

2 活動の実際

- (1) 教育課程水戸まごころタイム
- (2) 実施時期 6月25日(火)
- (3) 対象 第5学年(1クラス・26名)

(4) 活動

8:10	登校
8:20	学校出発
8:40	鯉淵営業所(バス乗り場)発
9:20	水戸市民会館着(1~5班) 班活動開始
9:30	水戸駅着(6班)班活動開始
10:00~11:00	体験活動①
11:00~13:30	昼食・次の体験場所に移動
13:30	体験活動②
15:00	水戸市民会館集合・出発
15:40	鯉淵営業所着
15:50	学校着・下校

1班	午前:水戸芸術館(茨城県水戸市五軒町1-6-8 029-227-8111)
	午後:茨城県立図書館(水戸市三の丸1丁目 5-38 029-221-5569)
2班	午前:郡司製菓工場(茨城県水戸市東原 2-1-42 029-221-4693)
	午後:木村屋本店(茨城県水戸市南町 1-2-21 029-221-3418)
3班	午前:水戸市博物館(茨城県水戸市大町3-3-20 029-226-6521)
	午後:水戸芸術館(茨城県水戸市五軒町 1-6-8 029-227-8111)
4班	午前:偕楽園(茨城県水戸市常磐町1丁目3 029-224-0441)
	午後:水戸芸術館(茨城県水戸市五軒町 1-6-8 029-227-8111)
5班	午前:鈴木茂兵衛商店(水戸市袴塚1-7-5 029-221-3966)
	午後:M-SPO(茨城県水戸市南町 3 丁目 6 番 8 号 050-1745-1557)
6 班	午前:自衛隊茨城地方協力本部(茨城県水戸市北見町 1-11 029-231-3315)
	午後:水戸地方裁判所(茨城県水戸市大町 1-1-38 029-224-8408)

(5) 体験先の様子

写真及び事業者名

体験内容・感想

水戸芸術館



【内容】

- ・館内の見学
- ・アートタワーの内部を見学

【感想】

・タワーの存在が目立っている印象だったが、 歴史あるパイプオルガンなど、いろいろな文化 を感じることができた。

木村屋本店



【内容】

・お菓子作り見学・試食

【感想】

・水戸の名品である「吉原殿中」について知る ことができた事、目の前で作っている様子を見 学できたことがよかった。

自衛隊茨城地方協力本部



【内容】

・施設・道具の説明、制服の着衣体験、車両乗 降体験

【感想】

・自衛隊の装備や乗り物について詳しく知ることができた。また、日々の訓練の大変さを知ることができてよかった。

(6) 振り返りの時間について

本事業後、①学校行事での発表 ②沖縄県との交流授業での発表 の2つの機会を設けて学習のまとめをした。児童からは、1年間の活動を通して、水戸の魅力がたくさんあることや、探してみないと分からないことがたくさんあることなどの振り返りが挙がった。

- 7月~10月・・・体験内容や感じた魅力を Google スライドにまとめ、校内の行事(鯉淵っ子まつり)で発表した。
- 11月~1月・・・沖縄県の小学校との交流授業にて、水戸市内散策の様子を伝える交流 活動を行った。
- 2月・・・・・・それぞれが水戸のどんな魅力を発見することができたか 1 年間の活動 を振り返った。

3 成果と課題

【成果】

- ・見学場所や内容の候補が豊富に用意されていたことによって、児童が意欲をもって主 体的に話合いを進めることができた。
- ・見学の挨拶や、見学順序の決定、食事の時間やメニューなど、活動に関する様々な決定事項に児童が関わることができた。
- ・各班にボランティアが1人以上いたことにより安全を確保しながら活動できた。
- ・水戸の魅力を見つけるということに対して、個人・グループで目標を意識しながら活動できた。
- ・校内の授業では味わうことのできない、貴重な見学・体験をする時間となった。

【課題】

- ・ボランティアの確保に時間がかかったこと。人数が確定しないため、見学先に詳細を 報告できなかった。
- ・食事場所が限られていたこと。食事場所の候補などがあると、見学場所の決定や時間 設定がスムーズになると感じた。
- ・暑さで熱中症の恐れがあるため、休息できるスペースや施設を知らせておくことが大 切だと感じた。